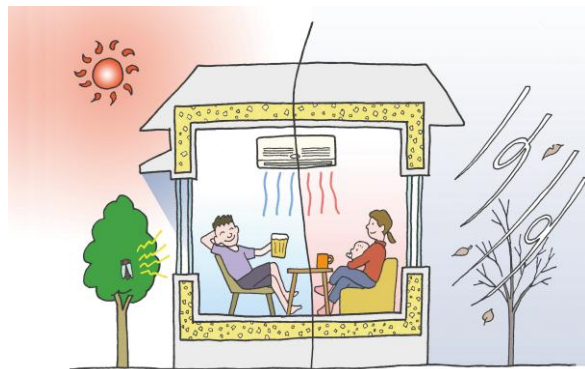


住まいの温熱環境と省エネ性能

冬暖かく夏涼しい室内環境を省エネで実現するためには断熱性能や気密性能を高めることが大切です。

住まいの省エネ

- 健康で快適に暮らすには、温熱環境が整った住まいにすることが大切です。
- 1980年に最初の省エネ基準が決められた後、環境や社会の変化により度々省エネ基準は見直されました。
- 2025年4月から全て新築の住宅は、決められた省エネルギー基準を満たすことが義務化されました。2030年には更に高い基準適合が求められています。
- 全国には1～8の地域区分があり、地域区分によって求められる省エネルギー性能が違います。



省エネルギー性能には、「外皮性能」と「一次エネルギー消費量」の2つの基準があります。

外皮性能とは？

- 外気に接する屋根や外壁、窓などの断熱性能のことです。外壁、屋根、床下などに断熱材が入っていることで断熱性能が高くなります。
- 昔からの窓は、ガラスや窓枠からの熱が出入りが大きい一方、ペアガラスや複層ガラスなど断熱性が高いガラスや内窓などが設置されている窓は断熱性能が高くなっています。

一次エネルギー消費量とは？

- 日常の暮らしの中で使われる、給湯器やエアコン、換気扇、照明器具などの設備機器で必要とされるエネルギーの使用量のことです。使用量を減らすことが省エネにつながります。
- エネルギーの消費量が少ない設備機器として、エコジョーズなどの高効率給湯器や熱交換型換気扇、LED照明などがあります。
- 太陽光発電のように、再生可能エネルギーを活用してエネルギーをつくることを「創エネ」と言い、使用する電力を創ったり貯めておくことで、エネルギーの消費量を抑えることができます。

ZEH(ゼッチ)

- 「Net Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略称で、住宅で使用するエネルギーの年間消費量がゼロになることめざした住宅です。
- 高効率な設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、家庭で使うエネルギーと創出するエネルギーがプラスマイナスゼロになることを目指すもので、省エネルギー性能を大幅に向上させることが目的です。

